

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会  
(事務局：JA 福岡中央会 担い手・営農サポートセンター)  
(公 印 省 略)

**営農情報 17**

## 麦類の栽培管理技術対策について

今年の麦は、播種時期の違いによって生育差が大きくなっている。1月中旬～2月上旬が高温（平年差：+2.5℃）に経過したため、11月中下旬播きの生育は1週間程度早く、生育が遅れていた12月播きも回復傾向である。また、土入れ・踏圧、追肥などの中間管理作業は1月中旬を中心に実施されたが、1月下旬～2月初旬が多雨で経過したため、ほ場の湿潤状態が続き、作業が一時停滞している。

向こう1か月の季節予報（福岡管区気象台発表：2月13日～3月12日）では、期間中は気温が高くなる可能性があり、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いと予想され、麦の生育、収量への影響が心配される。そこで、麦の収量安定のため、下記の麦類の生育予測を参考に、今後の対策を実施する。

### <作況試験（農林試 農産部）における予想茎立期>

播種時期	品種名	予想茎立期(見込)	前年値	平年値
11月20日	チクゴイズミ	2月4半旬	2月2半旬	2月6半旬
	ちくしW2号	2月4半旬	2月1半旬	2月6半旬
11月25日	ほうしゅん	2月5半旬	2月4半旬	3月1半旬

## 技術対策

### 1 リアルタイムアメダスを用いたムギの発育ステージ予測

- ・アメダス観測点の気温をもとに麦の発育ステージ（出穂期、開花期、成熟期）を予測。  
[http://www.naro.affrc.go.jp/org/warc/meteo\\_fukuyama/WEB/wheat/index\\_mugi.html](http://www.naro.affrc.go.jp/org/warc/meteo_fukuyama/WEB/wheat/index_mugi.html)

※「ムギ 発育 予測」で検索。

※予測に用いた気温は、2021年2月11日までは観測値、2月25日までは予報値、その後は平年値。予測情報には誤差があるので、あくまで参考値。

■品種：チクゴイズミ（太宰府）

播種日	茎立日
2020年11月10日 (平年値)	2月6日 (2月11日)
2020年11月20日 (平年値)	2月22日 (2月25日)
2020年12月1日 (平年値)	3月5日 (3月8日)

■品種：ミナミノカオリ（太宰府）

播種日	茎立日
2020年11月10日 (平年値)	1月23日 (1月28日)
2020年11月20日 (平年値)	2月12日 (2月16日)
2020年12月1日 (平年値)	2月25日 (3月1日)

■品種：シロガネコムギ（久留米）

播種日	茎立日
2020年11月10日 (平年値)	1月29日 (2月6日)
2020年11月20日 (平年値)	2月15日 (2月21日)
2020年12月1日 (平年値)	2月28日 (3月4日)

■品種：ミナミノカオリ（久留米）

播種日	茎立日
2020年11月10日 (平年値)	1月21日 (1月26日)
2020年11月20日 (平年値)	2月7日 (2月15日)
2020年12月1日 (平年値)	2月22日 (3月1日)

## 2 排水対策

ほ場の湿潤状態が続いており、排水対策が重要である。ほ場に水が溜まらないよう排水溝の溝さらえを行い、排水口を整備して地表水を排水する。ほ場が乾燥した時点で、土入れを兼ねて作溝する。

## 3 踏圧・土入れ

土壌が乾燥した時点で、速やかに土入れ・踏圧を実施する。

踏圧は、倒伏防止、早期茎立ち抑制のため、節間伸長開始期前（踏圧の晩限：草丈20～25cm程度）までに3～4回実施する。生育が特に旺盛なほ場では、更に1～2回多く実施する。

土入れは、倒伏防止や雑草防除の効果が高いため、3月上旬までに2～3回実施する。

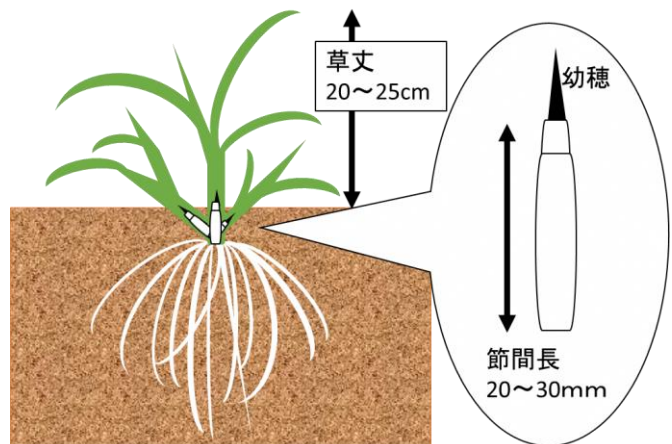


図 茎立ち期（節間伸長開始期）の目安

## 4 雑草防除

今後、ヤエムグラ、カラスノエンドウ、タデ類などの広葉雑草の発生が予想される。雑草の草種や発生状況を観察し、茎葉処理除草剤を早めに処理する。除草剤は普通作雑草防除の手引きを参照し、最新の登録情報を確認して使用する。

## 5 追肥

1回目の追肥（分けつ肥）を施用していないほ場では、速やかに施用する。追肥後に土入れを行っていないほ場では、早急に土入れを実施して確実に覆土を行う。

2回目の追肥（穂肥）は、食料用大麦と裸麦は2月下旬、小麦は2月下旬～3月上旬に基準量を施用する。なお、葉色が低下した場合は、2回目の追肥を早める。

また、下表の追肥時期ごとの麦の生育、収量および品質への影響度を参考にして、麦の生育（生育ステージ、生育量など）に応じた対策を実施する。

表 追肥時期ごとの生育、収量および品質への影響度

追肥時期	稈長	穂数	倒伏	遅れ穂	一穂粒数	千粒重	収量	タンパク
茎立前20日	大	大	大	—	—	—	大	—
茎立期	極大	極大	極大	—	—	—	極大	中
茎立後20日	小	小	小	—	大	小	大	中
茎立後30～40日	小	小	小	大	極大	小	大	大
穂揃期	—	—	—	極大	—	極大	大	極大